



まごころハーブの郷で慣れない雪かきを（大槌町）



2013年度
岩手ボランティアバス
第14回(3/21～24)
64名参加(2013年度のべ854名)

かみおさべ さと りやくの
上長部の郷で、小麦畑にまいた緑肥を
鳥に食べられないように、おがくずをかぶせる（陸前高田市）



大念寺の住職さんから“復興講話”をお聞きしました（大槌町）



製材の端材を焼いて灰にし、畑の土に混ぜる（陸前高田市）

震災から3年経ち、遅すぎる被災地への訪問だと自覚しつつ、でも知らんぷり、目をつぶってはいけないうんじやないか？と思ひ、家族と一緒に参加させていただきました。大雪のため、ボランティアといっても雪かきくらいしかお手伝いできませんでしたが、かたり部さんのお話をうかがうことができました。津波ですべてのものが失われていく光景、わが身も「もうだめなんじやないか？」と恐怖でいっぱい時間を経てきたかたり部さん方の話し方や表情は、とても穏やかで優しく、心に響きました。いろんなお話をありがとございました。日々大切に生きていこうと思ひました。また、行きます。

（守口市・平田さん）

14回目の3生協岩手ボランティアバスは、64名が岩手県大槌町と陸前高田市に分かれ活動。10代の方から70代の方まで世代を超えて、一緒に雪かきや畑作業を行いました。